

しては、引き続き、消費生活相談窓口を設置し、社会や経済の変化に伴い発生する消費生活トラブルに関する注意喚起を図りながら、消費者行政の普及啓発と安全・安心な市民生活の確保に努めてまいります。

八重山博物館開館50周年を記念して、令和4年10月、記念式典と記念企画展「喜舎場永珣と資料」を開催いたしました。新石垣市立八重山博物館の整備につきましては、財源の確保が大きな課題となっていることから、関係機関と調整し、財源の確保に努めてまいります。

市史編集事業につきましては、令和5年3月に発刊する「市史研究資料10 平得の民話」に続く「市史研究資料11 四か字の民話」及び歴史的史料価値の高い喜舎場永珣旧蔵史料を翻刻化し意識を付した「市史叢書26 参遣状6」の編集を進めてまいります。

また、近代における石垣市の社会情勢を把握するため、台湾大学が所蔵する「田代安定資料」の収集・調査等に関して、共同調査を予定している県内学識経験者との調整を進めてまいります。

国指定史跡である「先島諸島火番盛遠見番所（川平火番盛）」につきましては、公有化されていない一部の指

定地用地の取得に取り組むとともに、将来的な当該史跡の整備及び活用に向けての検討を進めてまいります。

4. 島の自然環境を守り、活かすまち

SDGsの取組につきましては、令和5年度に「いしがきSDGs推進プラットフォーム」の運用をスタートさせます。本市においてSDGsに取り組む事業者や団体等の会員を募り、新設する特設WEBサイトにおける情報の発信・共有により、会員同士の「つながり」を促すとともに、地域課題の解決や新たな事業創出の「きっかけづくり」と、市民への普及啓発を図ってまいります。また、SDGsに取り組む事業者や団体等に対して石垣市が認証を行う認証制度の構築にも取り組んでまいります。

本市では、令和3年度に策定した「石垣市森林環境譲与税5カ年計画」に基づき、森林環境譲与税を活用し、小学校や保育施設に木製の机や椅子、遊具の設置を進めているところです。令和5年度においても、森林環境譲与税を活用して、小学校へ木製の机や椅子の設置、また市民会館の屋外用舞台やベンチの材料として木材を

使用し、市民が木工製品に触れる機会を増やし、木材の利用促進と木材や森林への市民の関心を高めながら、木工関連産業の活性化を図ってまいります。

本市のごみ焼却施設であるクリーンセンターにつきましては、経年劣化による機能の低下や近年のごみ搬入量の増加により処理能力の不足が生じていることから、より有利な補助制度である防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金等を活用し、焼却設備の更新を行い、処理能力の改善および施設の延命化を図ってまいります。

自然環境の保全につきましては、石垣市自然環境保全条例に基づく希少野生動植物保全種の不正な捕獲や移動を防止するため、令和5年度に保全種の判別ブックを制作し、石垣島の貴重な希少種の保全及び固有の生態系の持続的な保全を図ってまいります。また、近年課題となっているサンゴの白化対策として、その要因の一つとされる陸域から海への過度な栄養塩の流出を防ぐため、公共下水道への接続率の向上および、農地における適正な施肥や畜舎における糞尿の適正な取扱の促進に向け、関係機関と連携し取り組んでまいります。併せて、

長期的な視点で、児童生徒へのサンゴ

保全をとおした環境教育も実施してまいります。



平久保崎灯台

5. 行財政運営

本市では、令和4年度に第8次石垣市行政改革大綱を策定しました。「市民力を活かした柔軟で効果的な行財政運営」を基本理念とし、その実現に向けて設定した3つの基本方針「健全な財政運営に向けた体制強化」、「地域と職員の協働のひと・しくみづくり」、「社会変化に対応した